オレンジハート
社協だより

No.155
令和元年5月15日発行
編集・発行
ふれあいネットワーク
社会福祉法人
南相馬市社会福祉協議会
〒975−0011
福島県南相馬市原町区小川町322-1
TEL　0244−24−3415
FAX　0244−24−1271
http://www.m-somashakyo.jp
shakyo@m-somashakyo.or.jp

社協HP

さくら咲く えがお咲く

サポートセンター「希望」（鹿島区）では、高齢者が定期的に集い交流できる場を設けることで、引きこもり防止や介護予防、生きがいづくり活動の支援を目的として、月曜日から金曜日に「いきいきデイサービス・ニコニコ元気塾」を開催しています。

季節感を取り入れた行事もたくさん実施しており、桜の咲く時期には「お花見ドライブ」に行きます。今回は涼ヶ岡八幡神社（相馬市）まで足をのばし、桜並木の参道を、満開の桜の花を見ながら散策し、平成最後のお花見を満喫しました。

この広報誌は皆様から寄せられた「社協会費」・「赤い羽根共同募金配分金」が活用されています

和度 令元年 南相馬市社会福祉協議会 会員の募集について

本会は、「地域のだれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指して、多くの市民の皆さまや関係機関・団体などの参加をいただきながら地域福祉事業を実施しております。

少子高齢社会が進む本市においても、地域コミュニティの希薄化や介護保険をはじめ諸制度の改正などによる生活環境の変化に伴い「様々な生活のしづらさ」を抱える人々が増加しており、今後、本会や行政が地域の皆さまとともに取り組むべき課題が山積しております。

これらの事業は、寄付金、共同募金配分金や市民の皆さまからいただく社協会費により支えられて実施しています。

つきましては、事業推進のため、社協会員にご賛同いただきたく、特段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●会費の種類

・一般会員
世帯・個人　500円
・特別会員
篤志者　一口　千円
・賛助会員
企業、団体、グループ
一口　1万円

●問い合わせ先

地域福祉課
・小高区
☎（0244）44-5970
・鹿島区
☎（0244）46-5354
・原町区
☎（0244）24-3415

日本赤十字社へのご協力をよろしくお願いします

日本赤十字社では、東日本大震災復興支援事業をはじめ、災害救護活動や献血事業、奉仕活動の推進、救急法の講習などの事業を行っています。

これらの事業推進のため、社員加入推進運動を実施するために、皆さまからのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●正社員…年500円以上
2,000円未満

●特別社員…年2,000円以上

ご協力の金額が2万円に達したときに特別社員称号贈与通知書、特別社員章、陶器製門標が贈られます。

みんなで福祉のまちづくり「ふくしのスローガン」大募集！

南相馬市社会福祉協議会では、多くの方に「福祉」を身近に感じてもらい、市民参加による福祉のまちづくりを促進するために、「ふくしのスローガン」を募集します。

スローガンの内容は
『社会福祉に関すること』

・高齢者や障がい者・子どもたちの支援活動
・人の優しさで広がる「お互いの支え合いの輪づくり」
・みんなの手でつくる「福祉のまちづくり活動」など、

これからの社会福祉活動の充実を図るための〝合い言葉（キャッチフレーズ）〟になるような内容のスローガンを自由に考えてください。

※平成30年度ふくしのスローガン

最優秀賞
「広げよう えがお・やさしさ・おもいやり」
八沢小学校
6年（受賞時）森　遥那さん

●募集期間

令和元年5月7日㈫～
6月14日㈮まで

●応募資格

・児童・生徒の部（中学生まで）
・大人の部（高校生以上）

●応募方法

応募作品に氏名（ふりがな）連絡先（郵便番号、住所、電話番号）、職業・校名、年齢（学年）を明記のうえ、郵送、FAX、電子メールにて応募してください。

※応募作品は1人1点とし、未発表で自作のものに限ります。なお、応募作品は返却しません。（著作権は南相馬市社会福祉協議会に帰属します）

※学校やクラス単位等で応募される場合は、別途学校の連絡先（郵便番号、住所、電話番号）及び担当教員の氏名を明記の上、取りまとめてご応募ください。

※応募に係る個人情報（氏名、市町村名、職業・校名、年齢（学年））は、選考、結果通知、発表等の広報を目的に利用いたします。

●審査・表彰

応募作品の審査は主催者が選定した審査員により行います。最優秀賞1点、優秀賞5点程度を選考し、賞状と記念品を贈呈します。

●発　表

入賞された方への通知については、個人で応募された場合は直接本人に、学校やクラス単位で応募された場合は学校長宛に通知します。なお、入選作品は南相馬市社会福祉協議会に関する広報や各種イベント、本会ホームページ等にて作品、作者氏名、市町村名、職業（学校名）、年齢（学年）を掲載（紹介）します。

●応募・問い合わせ先

地域福祉課（原町区）
☎0244-24-3415
FAX 0244-24-1271

サマーショートボランティアスクール参加者募集！

学校の夏休み期間を利用した「サマーショートボランティアスクール」を開催します。有意義な夏休みを過ごすために、参加してみませんか？

●参加対象
市内の高校・中学校に在学する生徒
※市外の学校に通う高校生が、参加希望する場合もご相談ください。

●期　間
令和元年7月22日(月)～8月23日(金)までの期間。
※原則1施設3日間の活動

●活動先
市内の福祉施設や各種事業など

●参加費
無　料

●申込先
在学する学校の担当教諭まで

●締　切
令和元年6月10日(月)まで

●問い合わせ先
地域福祉課(原町区)
☎(0244)24-3415

元気っ子あつまれ～！「なかよし親子うんどう会」のお知らせ

市内在住の未就学児親子を対象としたうんどう会を開催します。
お子さんやお孫さんと一緒に体を動かして、楽しい時間を過ごしましょう。

日　時　令和元年６月７日(金)
午前９時50分～午前11時30分
場　所　鹿島保健センター
対　象　市内在住の未就学児親子
定　員　25組(50名程度)
参加費　子ども１人につき２００円(当日納入)
締　切　令和元年５月31日(金)まで
※定員になり次第締め切ります

問い合わせ・申込先
地域福祉課(鹿島区)　☎(0244)46-5354

鹿島区社会福祉センター むつみ荘　利用案内

集会・サロンなどにぜひむつみ荘をご利用下さい！

鹿島区社会福祉センターむつみ荘
(鹿島区西町2－117)

営業時間　月曜日～土曜日　午前９時～午後４時
※受付は午後3時まで
入浴時間　平　日　午前10時～午後３時
土曜日　午前10時～午後２時
※受付は終了30分前まで
定 休 日　日曜日・年末年始
施設設備　お風呂、和室、カラオケ機器　等

ご利用料金

むつみ荘内各施設ご利用の場合

高齢者(65歳以上)、児童(17歳以下)	1日 300円
18歳～64歳の方	1日 500円

※障害者手帳提示の方は、無料です。

和室ご利用の場合

施設名	使用料　(各団体1組につき)
和　室	1時間あたり　300円
大広間	1時間あたり　600円

※会議ご利用時、使用料の減免がありますので詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ・申込先
地域福祉課(鹿島区)　☎(0244)46-5354

子どもニコニコ元気塾 ～ 季節のお菓子づくり ～

みんなで季節にちなんだお菓子づくりをして、楽しい時間を過ごしましょう。皆さんのご参加をお待ちしています！

日　時　令和元年６月２２日(土)
午前10時～正午
内　容　季節にちなんだお菓子づくり
※エプロンと三角巾(バンダナなど)を持参ください。
講　師　株式会社やまさん
代表取締役　谷田部　真敏 氏
場　所　原町生涯学習センター
対　象　18歳未満(小学４年生以下は保護者同伴)
参加費　参加者1人につき100円(当日納入)
締　切　令和元年6月14日(金)

※当日、事業にお手伝いいただくボランティアを募集しています。参加者の皆さんと楽しみながら、ボランティア活動してみませんか？
ご連絡お待ちしています！

問い合わせ・申込先
地域福祉課(原町区)　☎(0244)24-3415

子育てサロン事業 なないろサロン

なないろサロンは、子育て中の親子の交流スペースです。申込み不要でご利用いただけますので、お気軽にお越しください。楽しいイベントも盛りだくさん！

日　時　毎週月曜日～金曜日(祝日を除く)
午前10時～午前11時30分
午後1時30分～午後3時30分
場　所　鹿島区社会福祉センター　むつみ荘
対　象　0歳～3歳までのお子さんと保護者
内　容　おしゃべり、育児相談、絵本読み聞かせ、親子ゲーム、工作、おやつ作り等
参加費　無料(工作材料等の一部実費負担あり)

問い合わせ・申込先
地域福祉課(鹿島区)　☎(0244)46-5354

6月イベント

12日(水)	季節の工作
21日(金)	ちひろ先生リトミック
26日(水)	移動図書館おはなし会
28日(金)	親子ゲーム

※原則申込み制となります。

金婚式おめでとうございます
～しあわせ金婚夫婦表彰の申込みについて～

福島県老人クラブ連合会及び福島民報社で実施している「しあわせ金婚夫婦表彰」の申込みを受付けします。

●対象者
・昭和44年に結婚し、50年を迎えた夫婦。
・前回までに手続きをしなかった金婚夫婦も受付します（自己申告です）。

●受付期間
令和元年7月11日㈭まで

●申込方法
ご夫婦の名前・年齢・住所・電話番号・結婚年月日等を所定用紙にご記入の上、お申込みください。
所定用紙は、各区福祉サービスセンターにあります。

●問い合わせ・申込先
地域福祉課
・小高区
☎（0244）44－5970
・鹿島区
☎（0244）46－5354
・原町区
☎（0244）24－3415

手話にチャレンジ！
～手話入門教室のお知らせ～

初心者向けの手話入門教室を開催します。この教室は初めての方でも簡単に手話の基本を楽しく学べる講座です。お気軽にお申込み下さい。

●日　程
令和元年6月1日～
7月20日（全8回）
毎週土曜日
午後1時30分～午後3時

●会　場
原町区福祉会館

●参加費
無　料

●締　切
令和元年5月31日㈮まで

●問い合わせ・申込先
地域福祉課（原町区）
☎（0244）24－3415

ヘルパー直伝！ 第12弾
介護のヒント部屋

今回は、お母様の介護とヘルパーの仕事を両立し、真面目で丁寧な対応が評判のヘルパー Tさんの手記を紹介します。

平成23年３月11日、朝から介護が必要な母の病院受診に付き添い、午後2時46分、小高の自宅にて大きな揺れに見舞われた。地震･津波･福島第一原発の事故。避難指示に従い、弟が母を連れ神奈川に避難、自分は孫たちと新潟へと、家族がバラバラになった。「小高に帰りたい」と言いながら、慣れない避難生活で日を追うごとに弱っていく母の姿に、やり場のない悔しさがこみ上げる。それから２年、母の面倒をみていた弟が、ガンと診断され入退院を繰り返し、先に旅立ってしまった。

避難指示が解除され、母の念願が叶い小高に戻るも、体調を崩して現在は郡山市の病院に入院している。

震災から8年、もう一度母と一緒に暮らしたい、「小高に帰りたい」と何度も何度も言っていた母の願いを叶えてあげたい。私はあきらめない。

「人生いろいろ　介護もいろいろ　これから介護するひと　されるひと」

身近なものを代用し身体の清潔を保つ方法や、介護技術のポイントを紹介してきた『介護のヒント部屋』は、今月号が最終回となります。

毎回、楽しみに読んでくださった皆さま、ありがとうございました。

社協では、ホームヘルパーとして働ける方々を募集しています！問い合わせ先　総務課

こんにちは！生活支援相談室です

サロンのお知らせ

原町区に避難されている方が対象

『社協ゆいゆい広場』

●日　時
令和元年5月22日(水)
令和元年6月12日(水)
午後1時30分～午後3時30分

●会　場　原町区福祉会館

●参加費　100円(初回無料)

●問い合わせ・申込先
生活支援相談室(原町担当)
☎(0244)26－5107

小高区に帰還された方が対象

『おだかサロン』

●地区・日時
令和元年5月15日(水)
令和元年6月19日(水)
午前10時～正午

●会　場
小高保健福祉センター

●参加費　100円(初回無料)

●問い合わせ・申込先
生活支援相談室(小高担当)
☎(0244)26－5107

・福島市に避難されている方が対象

『ホッとサロン「てとて」』

●日　時
令和元年5月22日(水)
午前9時30分～午前11時30分

●内　容　調理実習

●準備物
エプロン・三角巾・スリッパ

●会　場
福島市保健福祉センター4階
調理実習室

●問い合わせ・申込先
福島市社会福祉協議会
総務課 生活復興支援室
☎(024)533－8881

郡山市に避難されている方が対象

『コミュニティサロン
Rococo ～ろここ～』

●日　時
令和元年6月5日(水)
午後1時30分～午後3時30分

●会　場
郡山市総合福祉センター3階
研修室2・3

●内　容　寄せ植え教室

●定　員　30人(先着順)

●材料費　千円

●申し込み期間
平成31年4月3日～
令和元年5月22日まで

●問い合わせ・申込先
郡山市社会福祉協議会
避難者生活支援相談室
☎(024)953－8337

今年度採用となった2人の職員を紹介します！

すみれデイサービスセンター 技師 西郡　愛実

4月1日付で南相馬市社会福祉協議会に入職しました。

私の抱負は業務一つひとつに責任を持って取り組むことです。デイサービスセンターでは、一日の流れが決まっています。その流れを覚え、自ら積極的に動けるようにしたいです。まず利用者さんの送迎という業務があります。利用者さんの家を一軒一軒覚えて、必要なものを準備し、不備がないようにしなければなりません。道を明確に覚えるのは大変ですが、運転している先輩に目印や特徴を教えてもらいます。私が運転する頃には利用者さん全員の家に迷いなく到着し、安全に送迎が出来るようになることが目標です。

また、私が苦手な衣服の着脱もより一層努力したいと思います。まだコツがつかめず着脱に時間がかかってしまいます。中には車イスの方や麻痺がある利用者さんもおり、指導してくださる先輩のように、利用者さんに負担をかけずに優しく接することができるようになりたいと思います。そして利用者さんやご家族に信頼していただける職員になれるように、これからも努力していきたいです。

仲町児童センター 館長 高野　博幸

児童センターは遊びをとおして児童の健やかな育成を図ることを目的としています。少子化と高齢化が南相馬市の課題となっている今、児童センターの運営は、さらにその重要性を増していると考えています。

児童の遊びは、成長するにしたがって一人から大勢がかかわる遊びに変化していきます。児童は、一緒に活動する楽しさを味わい体力を高めていく一方で、不適切な言葉かけやルール解釈のすれ違いなどでトラブルにも出会います。

職員は遊びを見守り適切な支援を行うことにより、児童の社会的適応能力を高め豊かな情操を育てています。私はそれらの活動を保障する環境作りに努め、職員とともに、児童センターの円滑な運営に力を尽くす所存です。

ありがとうございました

「まごころひろば」《平成31年3月16日～平成31年4月15日》

小高区

【ご遺志金】

・吉田一弘様（行政区）
故吉田敏勝様ご遺志として

・日下龍一郎様（南鳩原）
故日下文秀様ご遺志として

・佐藤新助様（金谷）
故佐藤郁子様ご遺志として

・松岡俊彦様（村上）
故松岡朝子様ご遺志として

・横山節子様（岡田）
故横山善樹様ご遺志として

・佐藤忠吉様（金谷）
故佐藤スミ様ご遺志として

・匿名
ご遺志として

【一般寄付】

・門馬孝子様（大田和）
調味料等をフードバンクへ

・金房流れ山会様
社会福祉のために

・練馬から南相馬支援のつどい
実行委員会
委員長　的野碩郎様（東京都）
南相馬支援のために

・塩谷靖子様
南相馬支援のために

・匿名
南相馬市支援として

鹿島区

【ご遺志金】

・但野静子様（小池）（行政区）
故但野孝夫様ご遺志として

・伏見忠様（横手）
故伏見信雄様ご遺志として

・峯岸エイ子様（西町）
故峯岸浩様ご遺志として

・松本孝夫様（北屋形）
故松本貫一様ご遺志として

・泉川清孝様（南屋形）
故泉川アイ様ご遺志として

・岡本英次様（御山）
故岡本安子様ご遺志として

・加藤功様（角川原）
故加藤キヨ様ご遺志として

・亀田ヒロ子様（南屋形）
故亀田利昌様ご遺志として

【一般寄付】

・匿名
絵本等を社会福祉のために

・匿名
小型点字器を社会福祉のために

原町区

【ご遺志金】

・木幡和廣様（日の出町）（行政区）
故木幡孝子様ご遺志として

・佐藤隆様（泉）
故佐藤トシエ様ご遺志として

・佐藤和雄様（萱浜）
故佐藤カツヨ様ご遺志として

・鈴木順子様（二見町二）
故鈴木清身様ご遺志として

・木幡孝男様（上太田）
故木幡富男様ご遺志として

・木幡瑛一様（馬場）
故木幡勝見様ご遺志として

・小林三嘉様（益田）
故小林トヨ子様ご遺志として

・遠藤政子様（下北高平）
故遠藤ヒロ子様ご遺志として

・早川育雄様（牛来）
故早川フデ様ご遺志として

・渡部進一様（信田沢）
故渡部テイ子様ご遺志として

【一般寄付】

・㈱フローラ様
㈱アクティブサポート様
社会福祉のために

・南ん子太鼓様（福岡県）
南相馬市復興支援金として

・Believe Japan Cup様（埼玉県）
南相馬市復興支援金として

・門馬イネ子様（小川町二）
乾麺等をフードバンクへ

・西内由幸様（国見町一）
社会福祉のために

・東吾妻町ボランティア連絡協議会様
福祉バザー売上金の一部と募金箱設置協力金を南相馬支援のために

・小林キミヨ様（西町）
手作りふくろうマスコットを社会福祉のために

・府中緊急派遣村
村長　松野哲二様（東京都）
南相馬市震災復興支援として

・公立双葉准看護学院
平成30年度卒業生一同様
社会福祉のために

・花みずきサロン様
バウムクーヘンをフードバンクへ

・匿名
焼のり等をフードバンクへ

・匿名
缶詰め等をフードバンクへ

【お寄せいただいたご厚情は地域福祉活動に活用しています】

認知症相談会

◆**期日・会場**
令和元年6月10日(月)
原町区福祉会館　中会議室
午後1時30分～　午後3時30分

◆**問い合わせ**
認知症の人と家族の会
☎（0244）23-4519
荒まで

フードバンク御礼とご報告

たくさんの方々から支援や激励のお言葉を頂きました。心より感謝いたします。

3月分実績

◆社協への寄付贈件数
16件（総数　156点）

◆ご要支援者への食料引き渡し件数
15件（総数　131点）

無料法律相談会

◆**期日・会場**
令和元年6月14日(金)
原町区福祉会館　相談室1
午後1時30分～　午後4時30分

◆**予約・問い合わせ先**
サポートセンター希望（鹿島区）
☎（0244）26-8246

ひとりごと

「令和」新たな時代の始まりです。平成に生まれた私にとって、自分が育った時代が終わるという初めての出来事に、なんともいえない寂しさを感じています。

振り返ってみると生まれてから今日この日まで、一瞬のように過ぎ去りました。

母と離れるのが寂しくて、グズグズ通った幼稚園。

人との関わりの喜びや難しさが分かるようになった小学生。

初めて恋をした中学生。

部活に打ち込んだ高校生。

行きつけの居酒屋で毎晩飲み明かした大学生。

社会人として過ごす今。

全ての経験が自分を育ててくれた、大切な時間です。

「ゆとり世代」という言葉に悩んだこともありますが、平成の時代に生まれ平成とともに育ったことに感謝し、これから築かれる「令和」、この言葉の意味に込められたように、明日への希望と共に一人ひとりが大きな花を咲かせる時代になりますように。

（K）